

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名		科目コード	単位数	開講期
戦略思考演習		Z 155	1 単位	4 学期
Strategic Thinking Practicum				
科目分野		課程領域		
戦略思考・コンサルティング		イノベーションマネジメント共通科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
三谷 宏治	-	土曜日		

関連している科目(履修推奨科目)

戦略思考要論 (必須)	戦略思考特論 (必須)	ビジネス分析特論
CRM特論	企業戦略特論2	

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

戦略思考特論、コンサルティング実践特論で学ぶ「コンサルティング・スキル」は、所謂コンサルタントだけのものではない。課題を見だし、それを解決に導く力として、受講生が今後歩むキャリアの如何に関わらず必須なものであろう。本授業は、基本的な戦略思考枠組みに加え「観想力」でのジャンプある戦略思考方法の修得を目的とする。

- ① 戦略思考特論に引き続き、企業戦略・変革の本質的な成功・失敗「メカニズム」(要因、ではない)を理解し、基礎的思考力(「重要思考」「B3Cフレームワーク」「戦略ピラミッド」「戦略的オプション比較」)を鍛える。
- ② ジャンプある戦略思考のための「観想力」を磨くため、ミニケースを多用し、繰り返しの訓練を行う。
- ③ 期間を通じ、自らの事業テーマにおける大逆転戦略(「土俵戦略」)を立案し、隔回でレポートする
- ④ 最終回は受講生による「発表会」を予定する。最終レポートとは別に、発表用資料を準備する。

到達(修得)目標

1. 「重要思考」「B3Cフレームワーク」「戦略ピラミッド」「戦略的オプション比較」を使いこなす。
2. 「観想力」を学び、B3Cを組み合わせた「土俵戦略」を修得する。
3. これらを自社において適用し、自社の土俵戦略を立案・発表する。

受講対象者

イノベーションマネジメント専攻の全受講生、特に戦略立案業務に携わる方

履修上の注意事項やアドバイス

- ※ 「戦略思考要論」、「戦略思考特論」の単位修得が必要。
- ・ 毎回、ショートケース、もしくはケースの予習がある。履修前の必読本が1冊ある。
- ★ 出席はきわめて重要。
- ※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。
- ※ 担当する教員は実務家教員とする。
- ※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	○
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力	○	X2: 構想	○
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力		X5: 変革	○
Y6: 標準化	○	Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	独自コンテンツの講義	講義	PPT
2	マブチモーター、フェニックス電機	ミニケーススタディ	要 購入
3	シマノ	ミニケーススタディ	要 購入
4	ヤマト運輸	ケーススタディ	要 購入
5	PS 対 SS/64	ミニケーススタディ	初日に配布
6	カシオ デジタルカメラ事業	自主調査ケーススタディ	自分で調査
7	自社大逆転戦略	自社課題	

評価の方法

(総合評価項目と割合)		評 価 の 要 点
出席・受講態度	10%	クラス貢献はクラスでの発言の量と質を加味する。 自社大逆転戦略は、最終レポートと発表資料を最終日までに提出すること。その質を評価する。未提出の場合は不可となる。 毎回、事務室より出席簿を準備する。
クラス貢献	30%	
自社大逆転戦略	60%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備 考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	ケース:シマノ(一橋BR) ケース:マブチモーター(一橋BR) ケース:フェニックス電機(一橋BR) 『観想力』三谷宏治(東洋経済新報社)	ケースは各自、事前購入のこと 「フェニックス電機追加資料」は事務局より事前入手のこと。「PS対SS/64」「シマノ追加資料」「激震デジタル一眼レフ」は初日に配布する
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	『ペンギン、カフェをつくる』三谷宏治(東洋経済新報社) 『発想力の全技法』三谷宏治(PHP文庫)	
参 考 U R L		
適宜紹介予定		

コマ	学 習 内 容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	戦略思考の復習と土俵戦略	戦略思考要論・特論の復習	三谷	90分
	イベント			
	土俵戦略演習:フェニックスとマブチ	ケーススタディ:フェニックス電機、マブチモーターを熟読し、成功メカニズムと今後の戦略を考える 自社課題レポート①提出	三谷	90分
	イベント	ケーススタディ:フェニックス電機、マブチモーター、のチーム討議と発表		
3.4	大戦争事例と標準化戦略:PS①	ケーススタディ:PS対SS/64を熟読し、PSの成功メカニズムを考える 自社戦略レポート①提出	三谷	90分
	イベント	ミニケース:ソニーPS、のチーム討議と発表		
	大戦争事例と標準化戦略:PS②	ケーススタディ:PS対SS/64を熟読し、セガの今後の戦略を考える	三谷	90分
	イベント	ケーススタディ:ヤマト運輸、のチーム討議と発表		
5.6	グローバル戦略:シマノ	ケーススタディ:シマノと「追加資料」を熟読し、成功メカニズムと今後の成長戦略を考える 自社戦略レポート②提出	三谷	90分
	イベント	ケーススタディ:シマノ、のチーム討議と発表		
	総合演習:デジタルカメラ市場とカシオ	カシオのデジタルカメラ事業について「激震デジタル一眼レフ」を読み、2006年までのカシオの成功・失敗メカニズムとその後の成長戦略を考える	三谷	90分
	イベント	ケーススタディ:カシオのデジタルカメラ事業のチーム討議と発表		
7.8	自社大逆転戦略 発表会①	最終レポート・発表資料提出 発表準備	三谷	90分
	イベント	個別質問会		
	自社大逆転戦略 発表会②	発表準備	三谷	90分
	イベント	自社・土俵戦略 発表会		

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。
 ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
 ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。